株式会社 フィデア情報総研
FIDEA Information & Research Institute,

第 42 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

（2021 年 11 月調査）

～ 景況感は５期ぶりに悪化。先行きは改善の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲13.0（前回調査比 13.2 ポイント下落）と 5 期ぶりに悪化し、再びマイナスに転じた。「各種ＤＩ値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化し、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、建設業とサービス業では 5 期ぶりに悪化したほか、製造業では 4 期ぶりに悪化、卸・小売業では 2 期連続の悪化と、すべての業種で悪化となり、製造業とサービス業は再びマイナスに転じた。
- **地域別**に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、県北が▲27.0（前回調査比 15.6 ポイント下落）、中央が▲4.8（同 11.8 ポイント下落）、県南が▲19.3（同 13.6 ポイント下落）とすべての地域で悪化となり、中央は 3 期ぶりにマイナスとなった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲9.1（今回調査比 3.9 ポイント上昇）と小幅ながら改善が見込まれている。

【 特別調査 】

- **冬季ボーナス**についてうかがったところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では 62.3%（前年比 2.9 ポイント上昇）となり、2 期ぶりの上昇となった。
  また、「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種では「さほど変わらない」と回答した企業の割合が 70.3%で最も高い割合を占め、これに「増やす」が 22.1%（前年 10.7%）、「減らす」が 7.7%（同 20.4%）で続き、「増やす」が「減らす」の割合を 14.4 ポイント上回った。

2021 年 12 月

株式会社フィデア情報総研

目次

Ⅰ．県内企業の業況 1
1.　概況 1
2.　業種別の動向 2
（１）業種別の概況 2
（２）業種別ＤＩ値の動向 3
①　建設業 3
②　製造業 4
③　卸・小売業 5
④　サービス業 6
3.　地域別の動向 7
（１）地域別の概況 7
（２）地域別ＤＩ値の動向 8
①　県北 8
②　中央 9
③　県南 10
Ⅱ．景気の天気予報図 11
Ⅲ．特別調査 12
1.　冬季ボーナスについて 12
（１）支給予定動向 12
（２）支給予定額 14
＜参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率＞ 16
＜参考資料Ⅱ：調査の概要＞ 16

Ⅰ．県内企業の業況

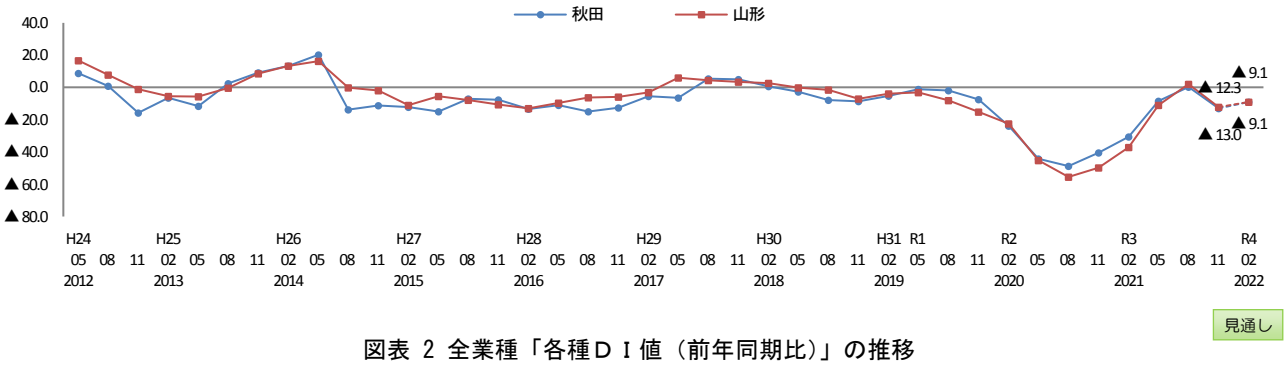
1．概況

～ 景況感は 5 期ぶりに悪化。先行きは改善の見通し ～

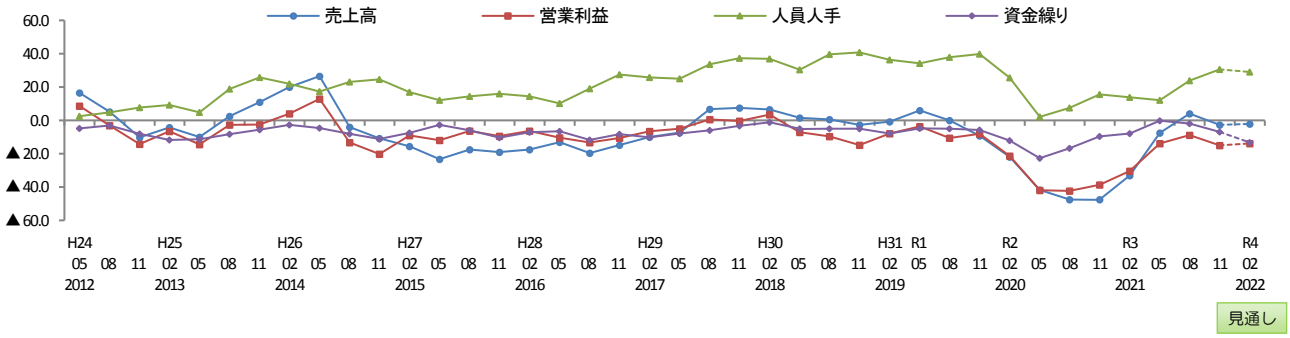
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲13.0（前回調査比 13.2 ポイント下落）と 5 期ぶりに悪化し、再びマイナスに転じた。「各種ＤＩ値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化し、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が拡大した。コロナ禍において原材料の価格上昇や供給の遅れ、資源価格の上昇が続いており、持ち直しの動きは一服している。

先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲9.1（今回調査比 3.9 ポイント上昇）と小幅ながら改善が見込まれている。

図表 1 全業種「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	8.3	▲ 49.1	▲ 47.6	▲ 38.8	15.5	▲ 9.6
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	9.9	▲ 31.6	▲ 33.2	▲ 30.4	13.9	▲ 7.9
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	22.2	▲ 37.8	▲ 7.6	▲ 13.8	12.2	▲ 0.2
2021.08 (n=364)	0.2	8.7	▲ 22.8	4.1	▲ 8.8	23.9	▲ 1.9
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	(▲ 13.2)	▲ 15.1	▲ 2.8	▲ 15.0	30.5	▲ 7.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.9)	(▲ 6.2)	(6.6)	(▲ 5.1)
先行き見通し	▲ 9.1	-	-	▲ 2.2	▲ 13.8	29.1	▲ 13.3
今回調査比	(3.9)	-	-	(0.6)	(1.2)	(▲ 1.4)	(▲ 6.3)

※ 「売上高」ＤＩ値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

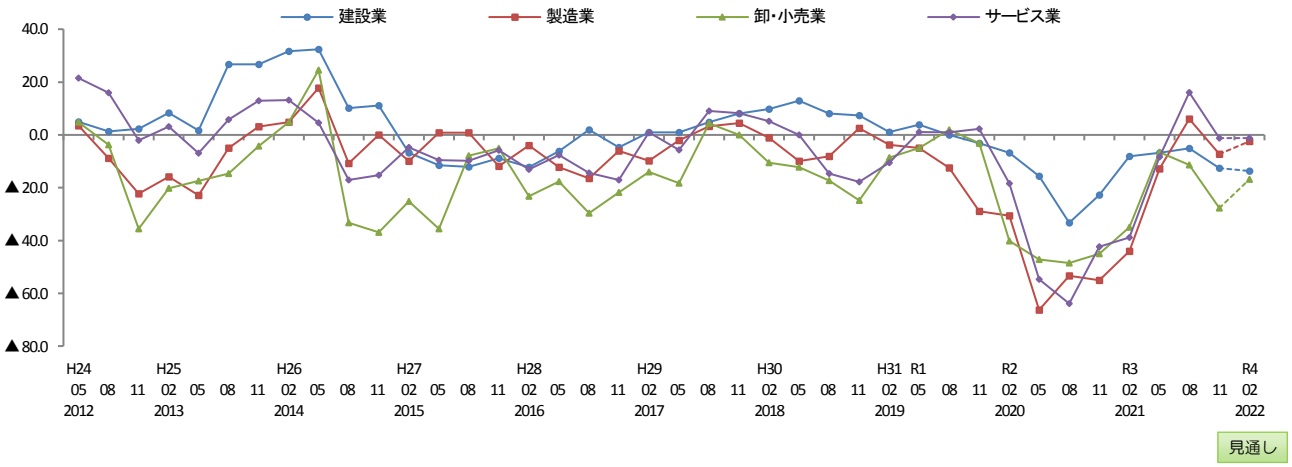
2. 業種別の動向

（１）業種別の概況

業種別に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、建設業とサービス業では５期ぶりに悪化したほか、製造業では４期ぶりに悪化、卸・小売業では２期連続の悪化と、すべての業種で悪化となり、製造業とサービス業は再びマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、建設業では小幅ながら悪化が見込まれる一方、サービス業では横這い、その他の２業種では改善が見込まれている。

図表 3 業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

業種別 / 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比） 全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	▲ 22.7	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 42.3
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	▲ 8.1	▲ 44.0	▲ 35.0	▲ 38.8
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 6.8	▲ 12.8	▲ 6.5	▲ 8.4
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 5.1	6.1	▲ 11.4	16.1
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 12.6	▲ 7.3	▲ 27.7	▲ 1.2
前回調査比	(▲ 13.2)	(▲ 7.5)	(▲ 13.4)	(▲ 16.3)	(▲ 17.3)
先行き見通し	▲ 9.1	▲ 13.7	▲ 2.4	▲ 16.8	▲ 1.2
今回調査比	(3.9)	(▲ 1.1)	(4.9)	(10.9)	(0.0)

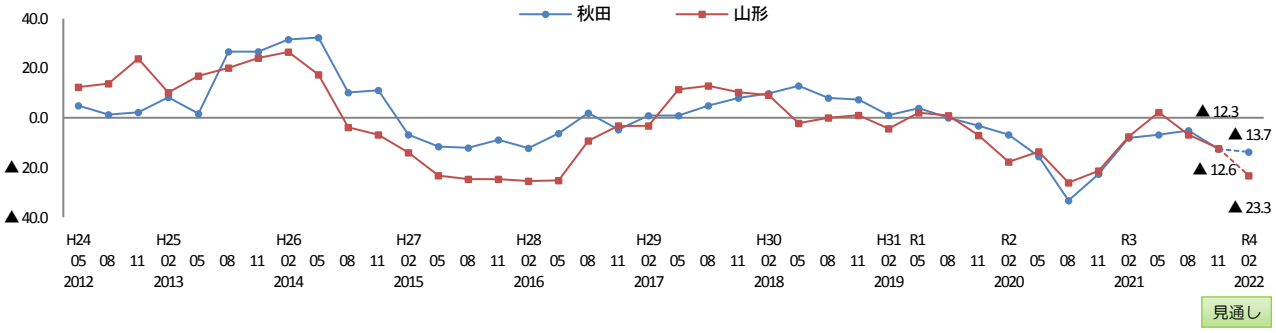
（２）業種別ＤＩ値の動向

① 建設業

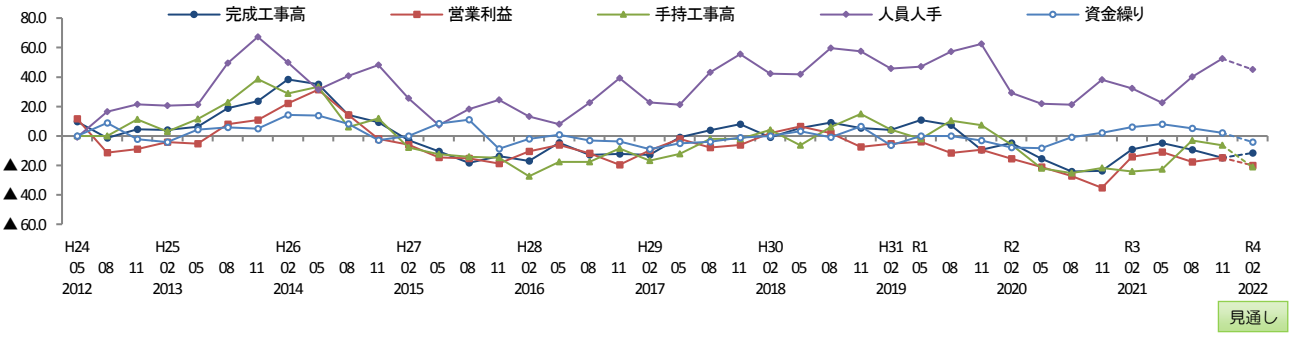
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲12.6（前回調査比 7.5 ポイント下落）と、5 期ぶりの悪化となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」では、「営業利益」が改善となった一方、「完成工事高」「手持工事高」「資金繰り」がいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、ウッドショックの影響等による木材・資材の価格上昇や供給の遅れ、燃料価格の上昇が続いており、収益や納期に影響を及ぼしている状況がうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲13.7（今回調査比 1.1 ポイント下落）と小幅な悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

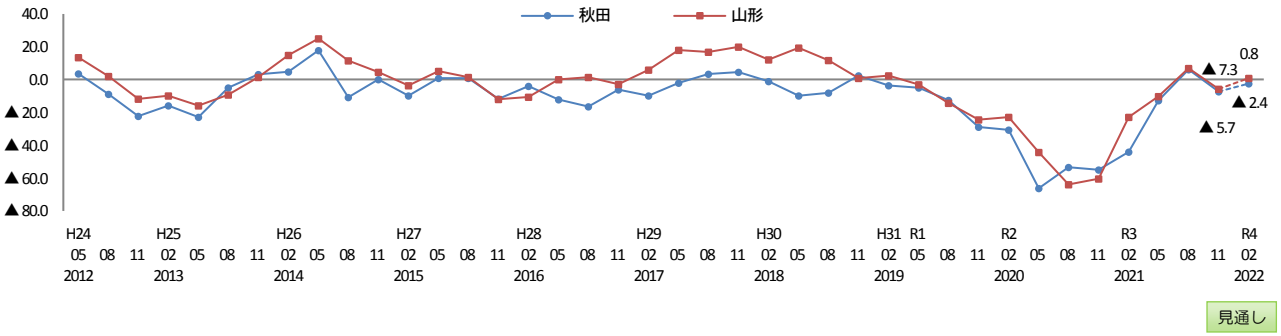
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	完成工事高	営業利益	手持工事高	人員人手	資金繰り
2020.11 (n=97)	▲ 22.7	10.6	▲ 30.3	▲ 23.7	▲ 35.1	▲ 21.7	38.1	2.1
2021.02 (n=99)	▲ 8.1	14.6	▲ 27.9	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 24.2	32.3	6.1
2021.05 (n=102)	▲ 6.8	1.3	▲ 29.3	▲ 4.9	▲ 10.8	▲ 22.6	22.5	7.9
2021.08 (n=97)	▲ 5.1	1.7	▲ 19.6	▲ 9.3	▲ 17.5	▲ 3.1	40.2	5.2
2021.11 (n=95)	▲ 12.6	(▲ 7.5)	▲ 20.7	▲ 14.7	▲ 14.7	▲ 6.3	52.6	2.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.4)	(2.8)	(▲ 3.2)	(12.4)	(▲ 3.1)
先行き見通し	▲ 13.7	-	-	▲ 11.6	▲ 20.0	▲ 21.1	45.2	▲ 4.2
今回調査比	(▲ 1.1)	-	-	(3.1)	(▲ 5.3)	(▲ 14.8)	(▲ 7.4)	(▲ 6.3)

② 製造業

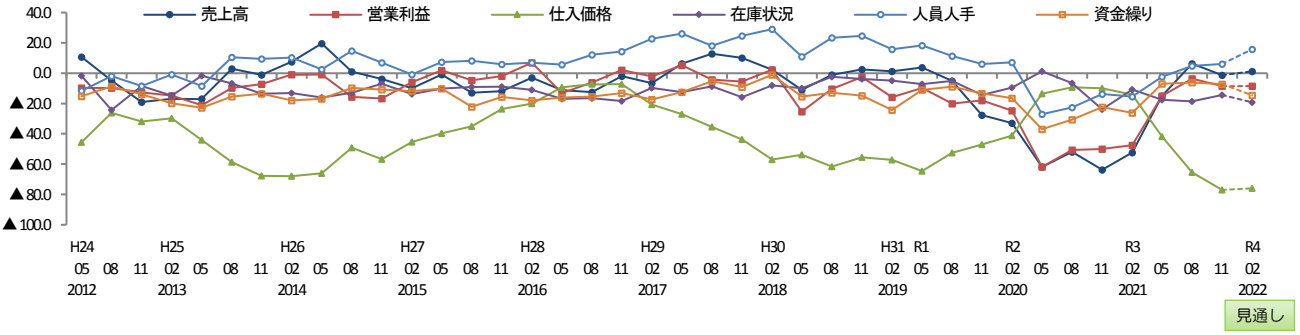
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲7.3（前回調査比 13.4 ポイント下落）と 4 期ぶりの悪化となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」では、「在庫状況」が改善した一方、「仕入価格」や「売上高」などの 4 項目ではいずれも悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、コロナ禍において依然多くの業種で受注が伸び悩んでいるほか、総じて原材料や燃料価格上昇の影響が色濃くうかがえる。また、自動車関連や機械製造の一部では、海外からの部品供給停滞の影響などから減産を余儀なくされている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲2.4（今回調査比 4.9 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

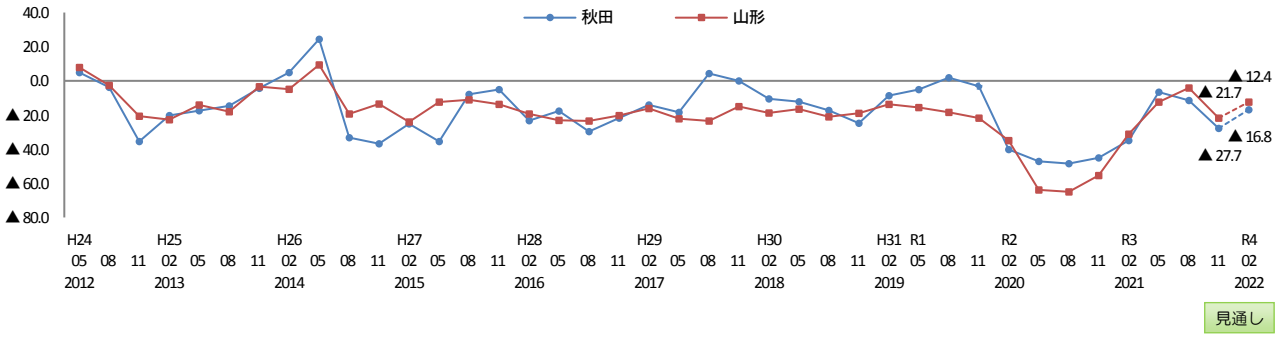
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
2020.11 (n=80)	▲ 55.0	▲ 1.7	▲ 57.3	▲ 63.7	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 23.8	▲ 13.8	▲ 22.5
2021.02 (n=84)	▲ 44.0	11.0	▲ 31.3	▲ 52.4	▲ 47.6	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 15.5	▲ 26.2
2021.05 (n=86)	▲ 12.8	31.2	▲ 35.7	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 41.8	▲ 17.5	▲ 2.3	▲ 7.0
2021.08 (n=81)	6.1	18.9	▲ 11.6	6.2	▲ 3.7	▲ 65.4	▲ 18.5	4.9	▲ 6.2
2021.11 (n=83)	▲ 7.3	(▲ 13.4)	▲ 3.7	▲ 1.3	▲ 8.5	▲ 77.1	▲ 14.4	6.0	▲ 7.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 7.5)	(▲ 4.8)	(▲ 11.7)	(4.1)	(1.1)	(▲ 1.0)
先行き見通し	▲ 2.4	-	-	1.2	▲ 8.4	▲ 75.9	▲ 19.3	15.7	▲ 14.5
今回調査比	(4.9)	-	-	(2.5)	(0.1)	(1.2)	(▲ 4.9)	(9.7)	(▲ 7.3)

③ 卸・小売業

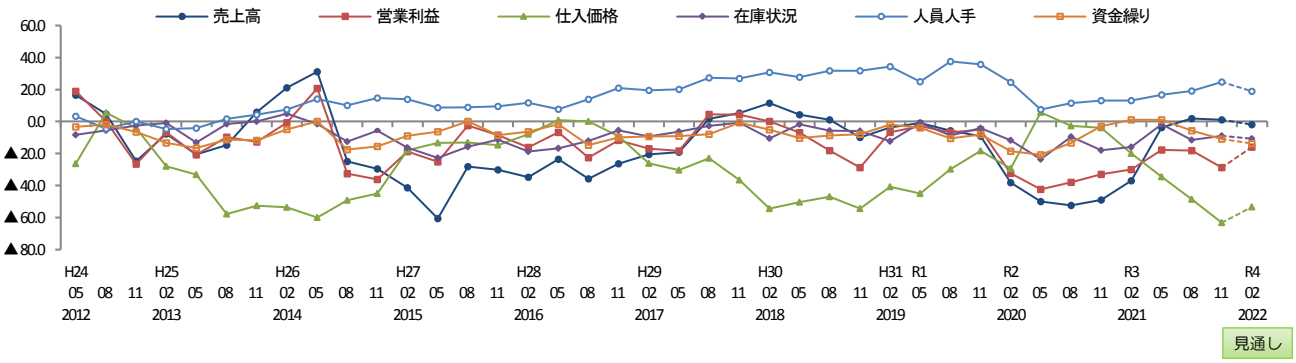
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲27.7（前回調査比 16.3 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」では、「在庫状況」が改善した一方、「仕入価格」や「営業利益」などの 4 項目ではいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 3 期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、全体としてはコロナ禍において依然多くの業種で停滞感がうかがえたほか、仕入価格や燃料価格の上昇、半導体不足や輸入停滞による納期遅れが収益に影響を及ぼしている状況がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲16.8（今回調査比 10.9 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況ＤＩ値(前年同期比)」の推移



図表 9 卸・小売業「各種ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

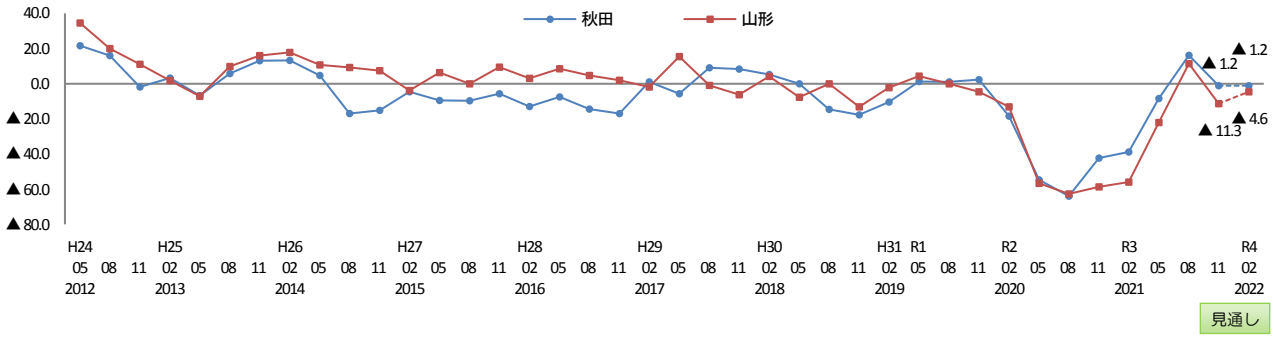
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
2020.11 (n=100)	▲ 45.0	3.5	▲ 52.3	▲ 49.0	▲ 33.0	▲ 4.0	▲ 18.0	13.0	▲ 3.0
2021.02 (n=100)	▲ 35.0	10.0	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.0	13.0	1.0
2021.05 (n=107)	▲ 6.5	28.5	▲ 34.0	▲ 3.8	▲ 17.8	▲ 34.6	▲ 1.8	16.8	1.0
2021.08 (n=105)	▲ 11.4	▲ 4.9	▲ 28.0	1.9	▲ 18.1	▲ 48.6	▲ 11.5	19.1	▲ 5.7
2021.11 (n=101)	▲ 27.7	(▲ 16.3)	▲ 20.9	1.0	▲ 28.7	▲ 63.3	▲ 8.9	24.7	▲ 10.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.9)	(▲ 10.6)	(▲ 14.7)	(2.6)	(5.6)	(▲ 5.2)
先行き見通し	▲ 16.8	-	-	▲ 2.0	▲ 15.9	▲ 53.4	▲ 10.8	18.9	▲ 13.8
今回調査比	(10.9)	-	-	(▲ 3.0)	(12.8)	(9.9)	(▲ 1.9)	(▲ 5.8)	(▲ 2.9)

④ サービス業

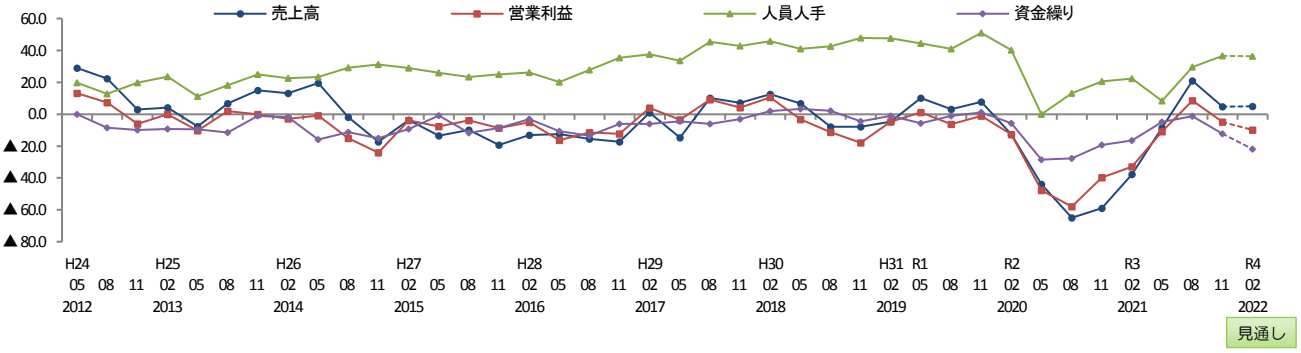
「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲1.2（前回調査比 17.3 ポイント下落）と 5 期ぶりの悪化となった。「各種ＤＩ値（前年同期比）」でみると、すべての項目が悪化となり、また、「人員人手」は 2 期連続で上昇し、プラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、建機レンタルや自動車整備では堅調な動きが続いているほか、放送や不動産でも回復の兆しがみられた一方、これまでで最大の感染規模となった新型コロナ感染症・第 5 波の影響から飲食店や宿泊、レジャー関係では依然業況の厳しさが色濃くうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲1.2（今回調査比±0.0 ポイント）と横這いが見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況ＤＩ値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種ＤＩ値（前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）	前回調査比	前回調査予測	売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
2020.11 (n=78)	▲ 42.3	21.6	▲ 60.2	▲ 59.0	▲ 39.7	20.5	▲ 19.2
2021.02 (n=85)	▲ 38.8	3.5	▲ 35.9	▲ 37.7	▲ 32.9	22.4	▲ 16.5
2021.05 (n=83)	▲ 8.4	30.4	▲ 54.1	▲ 8.4	▲ 10.8	8.4	▲ 4.8
2021.08 (n=81)	16.1	24.5	▲ 31.4	20.9	8.6	29.6	▲ 1.2
2021.11 (n=82)	▲ 1.2	(▲ 17.3)	▲ 12.3	4.8	▲ 4.8	36.6	▲ 12.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 16.1)	(▲ 13.4)	(7.0)	(▲ 11.0)
先行き見通し	▲ 1.2	-	-	4.9	▲ 9.8	36.5	▲ 21.9
今回調査比	(0.0)	-	-	(0.1)	(▲ 5.0)	(▲ 0.1)	(▲ 9.7)

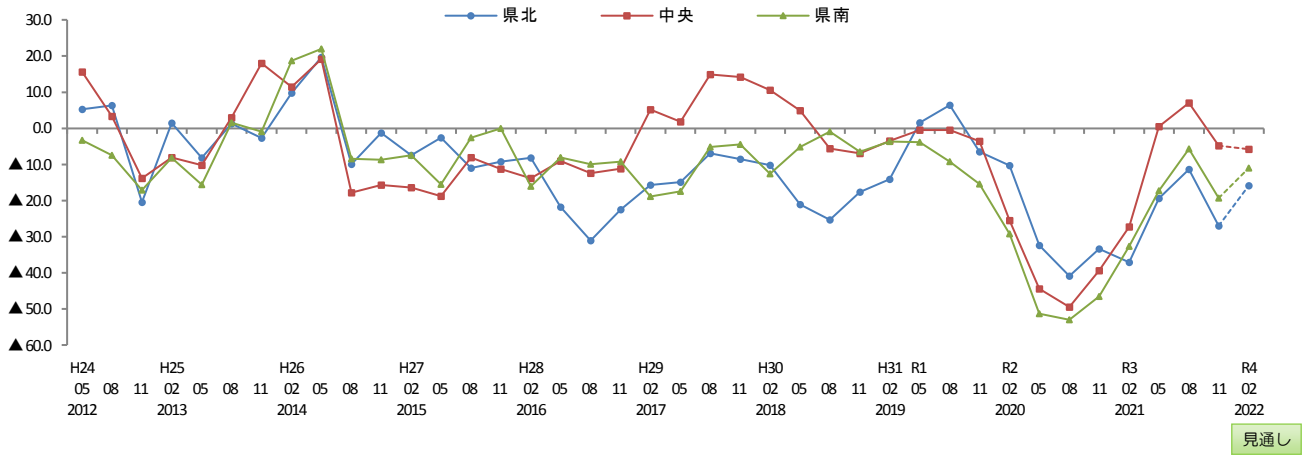
3. 地域別の動向

（１）地域別の概況

地域別に「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、県北が▲27.0（前回調査比 15.6 ポイント下落）、中央が▲4.8（同 11.8 ポイント下落）、県南が▲19.3（同 13.6 ポイント下落）とすべての地域で悪化となり、中央は 3 期ぶりにマイナスとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」をみると、中央では小幅な悪化が見込まれている一方、県北と県南では改善が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比） 全地域	県北	中央	県南
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	▲ 33.4	▲ 39.4	▲ 46.6
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	▲ 37.1	▲ 27.3	▲ 32.7
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 19.4	0.5	▲ 17.3
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 11.4	7.0	▲ 5.7
2021.11 (n=361)	▲ 13.0	▲ 27.0	▲ 4.8	▲ 19.3
前回調査比	(▲ 13.2)	(▲ 15.6)	(▲ 11.8)	(▲ 13.6)
先行き見通し	▲ 9.1	▲ 15.9	▲ 5.8	▲ 11.0
今回調査比	(3.9)	(11.1)	(▲ 1.0)	(8.3)

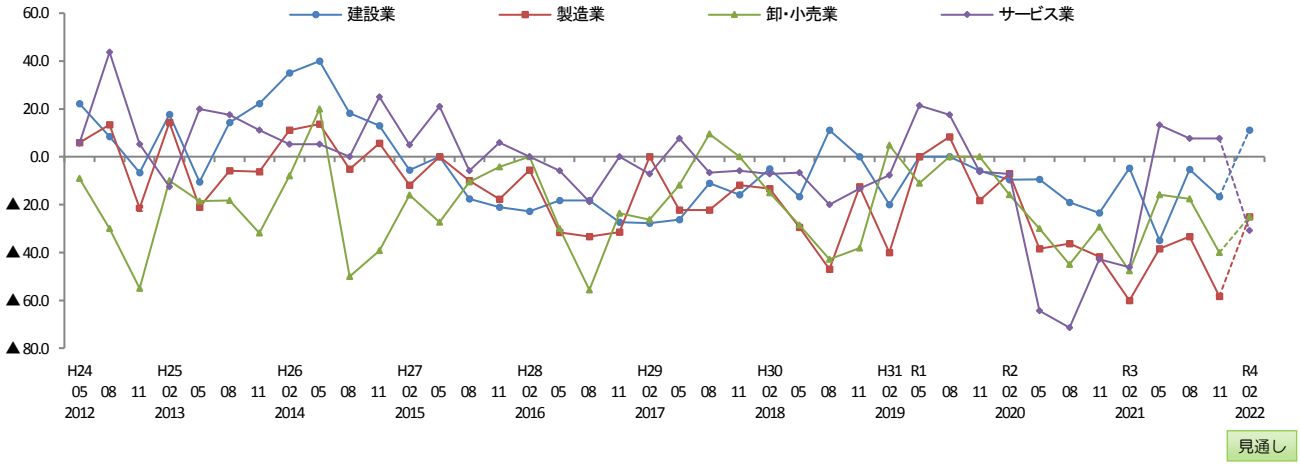
（２）地域別ＤＩ値の動向

① 県北

「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲27.0（前回調査比 15.6 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。業種別では、サービス業は横這いとなった一方、その他の 3 業種はいずれも悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲15.9（今回調査比 11.1 ポイント上昇）と改善が見込まれている。業種別では、サービス業で大幅な悪化が見込まれている一方、その他の 3 業種では改善が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

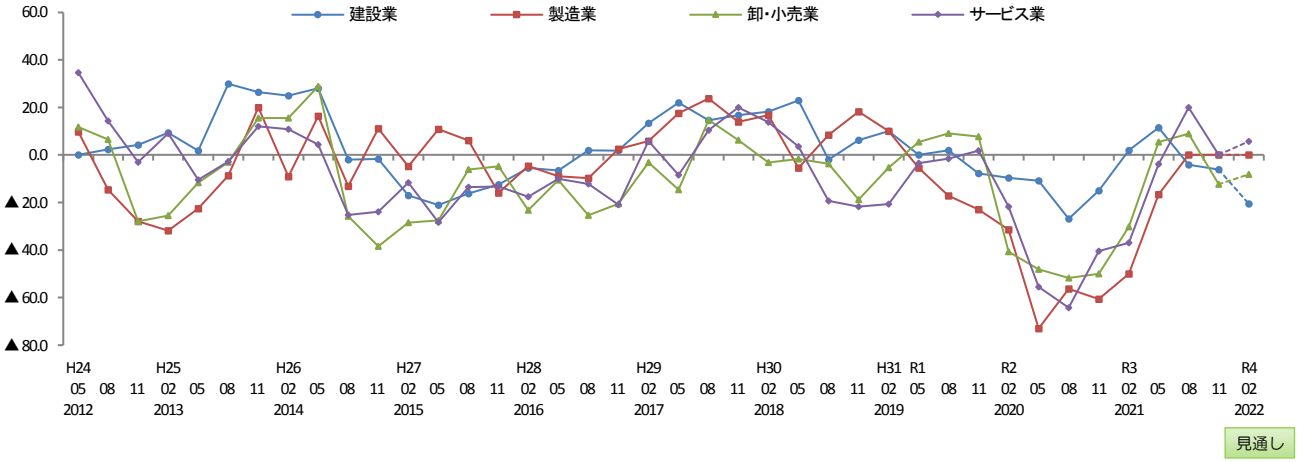
県　北 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービス
2020.11 (n=60)	▲ 33.4	▲ 23.5	▲ 41.7	▲ 29.4	▲ 42.8
2021.02 (n=70)	▲ 37.1	▲ 4.8	▲ 60.0	▲ 47.6	▲ 46.1
2021.05 (n=67)	▲ 19.4	▲ 35.0	▲ 38.4	▲ 15.8	13.3
2021.08 (n=61)	▲ 11.4	▲ 5.3	▲ 33.4	▲ 17.6	7.7
2021.11 (n=63)	▲ 27.0	▲ 16.6	▲ 58.3	▲ 40.0	7.7
前回調査比	(▲ 15.6)	(▲ 11.3)	(▲ 24.9)	(▲ 22.4)	(0.0)
先行き見通し	▲ 15.9	11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.8
今回調査比	(11.1)	(27.7)	(33.3)	(15.0)	(▲ 38.5)

② 中央

「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲4.8（前回調査比 11.8 ポイント下落）と 5 期ぶりの悪化となった。業種別では、製造業が横這いとなった一方、その他の 3 業種ではいずれも悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲5.8（今回調査比 1.0 ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。業種別では、サービス業と卸・小売業で改善が見込まれる一方、製造では横這い、建設業では悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況ＤＩ値

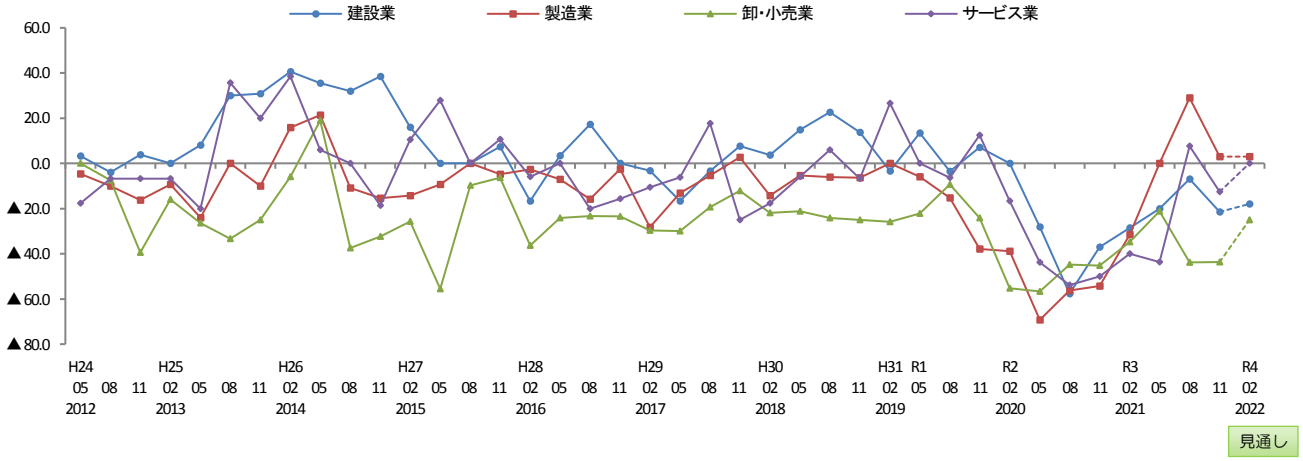
中　央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービス
2020.11 (n=190)	▲ 39.4	▲ 15.0	▲ 60.6	▲ 50.0	▲ 40.4
2021.02 (n=194)	▲ 27.3	2.0	▲ 50.0	▲ 30.2	▲ 36.9
2021.05 (n=195)	0.5	11.5	▲ 16.7	5.4	▲ 3.8
2021.08 (n=198)	7.0	▲ 4.1	0.0	8.9	20.0
2021.11 (n=189)	▲ 4.8	▲ 6.1	0.0	▲ 12.3	0.0
前回調査比	(▲ 11.8)	(▲ 2.0)	(0.0)	(▲ 21.2)	(▲ 20.0)
先行き見通し	▲ 5.8	▲ 20.5	0.0	▲ 8.2	5.7
今回調査比	(▲ 1.0)	(▲ 14.4)	(0.0)	(4.1)	(5.7)

③ 県南

「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」は▲19.3（前回調査比 13.6 ポイント下落）と 5 期ぶりの悪化となった。業種別にみると、卸・小売業は小幅ながら改善となった一方、その他の 3 業種では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況ＤＩ値（前年同期比）」が▲11.0（今回調査比 8.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。業種別では、建設業、卸・小売業、サービス業では改善が見込まれる一方、製造業では横這いの見通しとなっている。

図表 15 県南業種別「自社業況ＤＩ値（前年同期比）」の推移



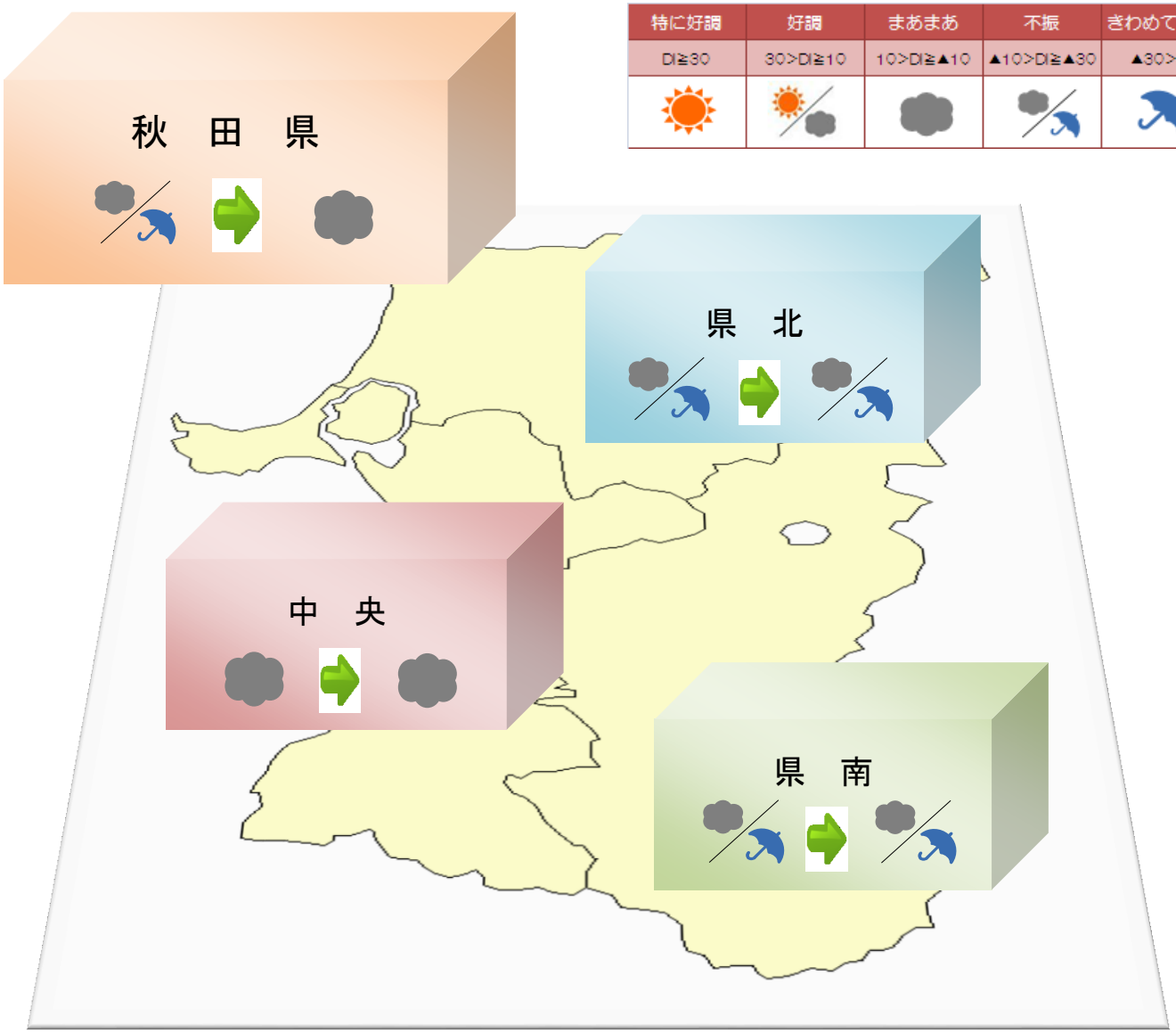
前年同期比の自社業況ＤＩ値

県　南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
		建 設	製 造	卸・小売	サービス
2020.11 (n=105)	▲ 46.6	▲ 37.0	▲ 54.3	▲ 45.2	▲ 50.0
2021.02 (n=104)	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 31.5	▲ 34.7	▲ 40.0
2021.05 (n=116)	▲ 17.3	▲ 20.0	0.0	▲ 21.2	▲ 43.7
2021.08 (n=105)	▲ 5.7	▲ 6.9	29.0	▲ 43.8	7.7
2021.11 (n=109)	▲ 19.3	▲ 21.4	3.0	▲ 43.7	▲ 12.5
前回調査比	(▲ 13.6)	(▲ 14.5)	(▲ 26.0)	(0.1)	(▲ 20.2)
先行き見通し	▲ 11.0	▲ 17.9	3.0	▲ 25.0	0.0
今回調査比	(8.3)	(3.5)	(0.0)	(18.7)	(12.5)

Ⅱ. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI≧30	30>DI≧10	10>DI≧▲10	▲10>DI≧▲30	▲30>DI



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

Ⅲ. 特別調査

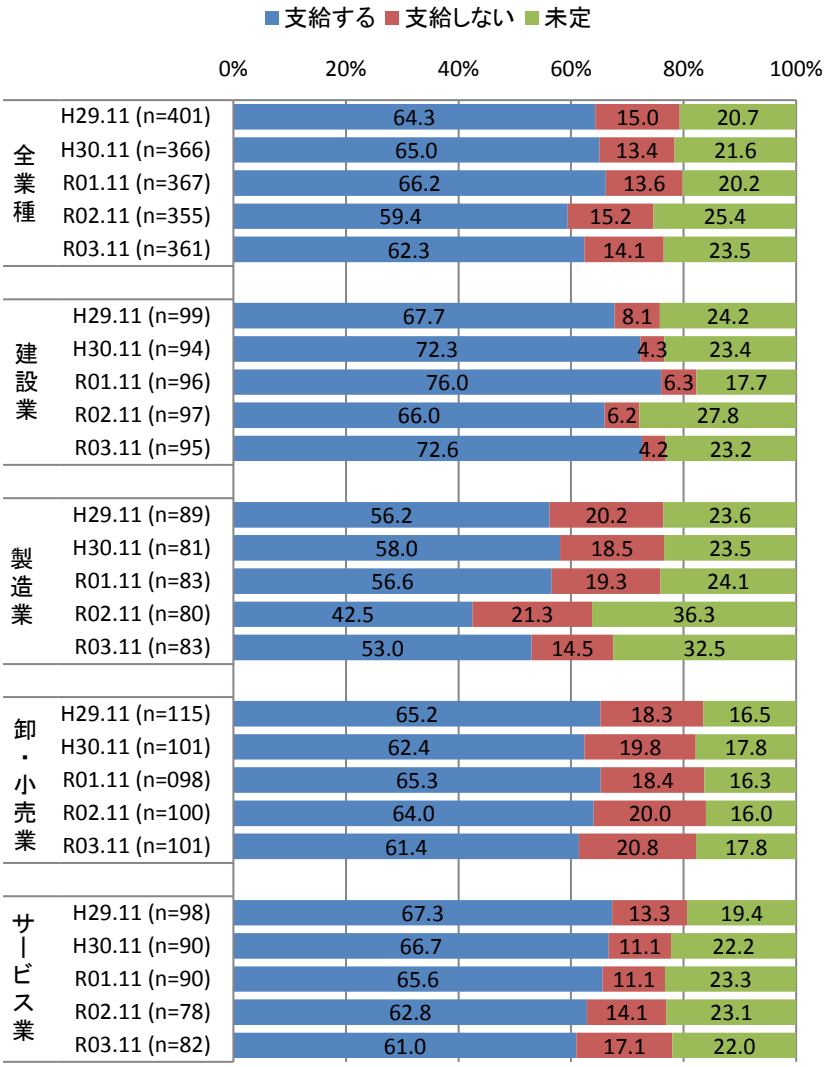
1. 冬季ボーナスについて

（１）支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では 62.3%（前年比 2.9 ポイント上昇）となり、2 期ぶりの上昇となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は 14.1%（同 1.1 ポイント低下）と 3 期ぶりの低下となった。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業では 72.6%（同 6.6 ポイント上昇）、製造業では 53.0%（同 10.5 ポイント上昇）と前年を上回った一方、卸・小売業では 61.4%（同 2.6 ポイント低下）、サービス業では 61.0%（同 1.8 ポイント低下）と前年を下回った。

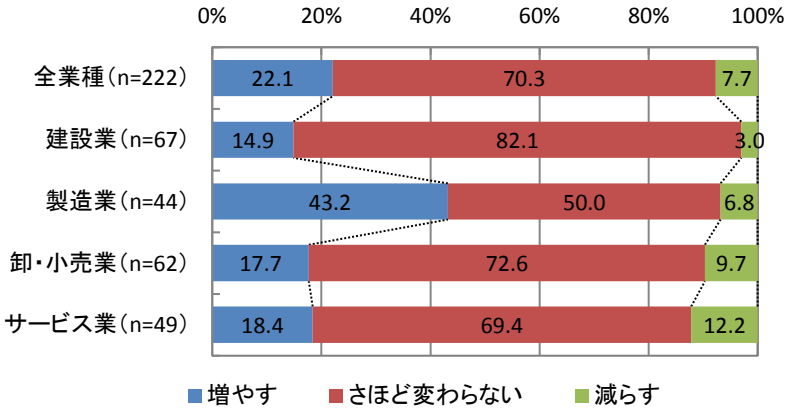
図表 16 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が 70.3%で最も高い割合を占めた。また、「増やす」との回答は 22.1%と前年（10.7%）から 11.4 ポイント上昇し、一方、「減らす」の割合は 7.7%と前年（20.4%）から 12.7 ポイント低下しており、「増やす」が「減らす」の割合を 14.4 ポイント上回った。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合が最も高いのは製造業（43.2%）で、一方、最も低いのは建設業（14.9%）であった。

図表 17 業種別「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



（２）支給予定額

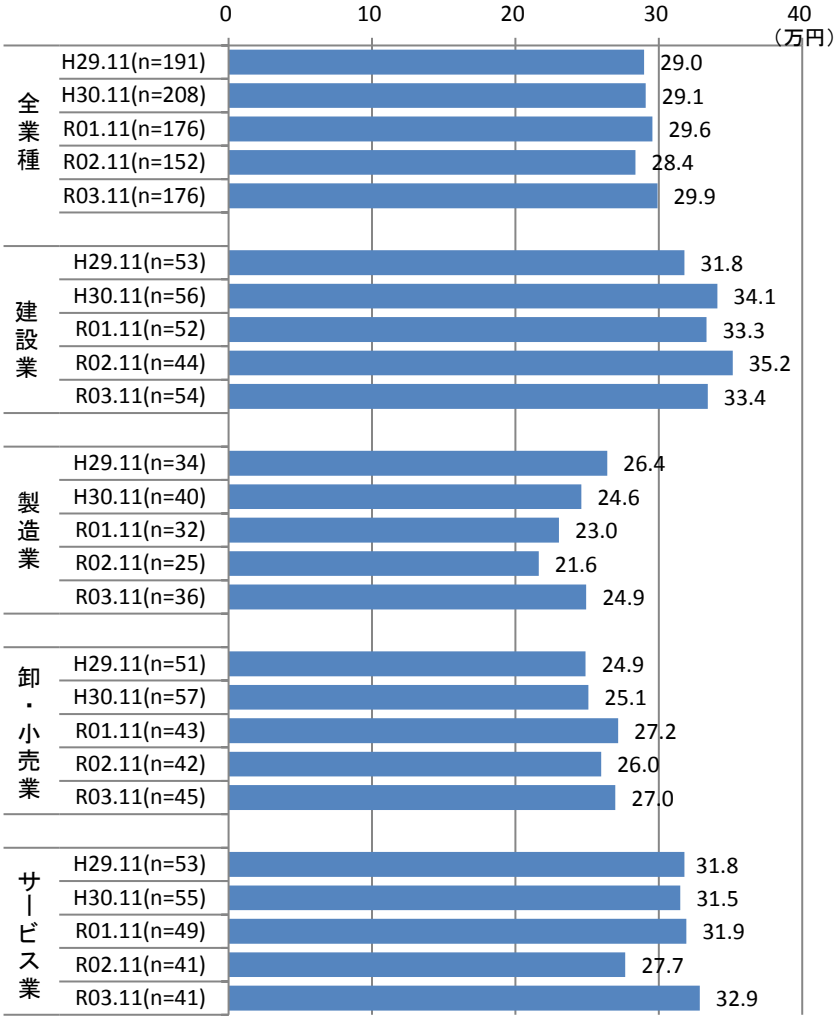
冬季ボーナスの支給予定額は全業種平均で 29.9 万円と、昨年に比べ 1.5 万円の上昇が見込まれている。

業種別に見ると、建設業の 33.4 万円が最も高く、次いでサービス業の 32.9 万円が続き、以下は卸・小売業の 27.0 万円、製造業の 24.9 万円の順となった。昨年に比べて製造業、卸・小売業、サービス業の 3 業種ではいずれも増加が見込まれている一方、建設業では低下の見通しとなっている。

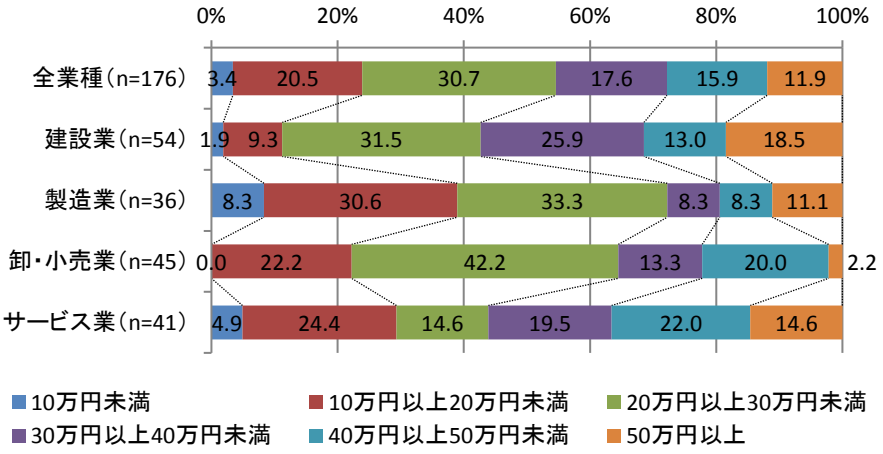
平均支給予定額は、全業種では「20 万円以上 30 万円未満」が 30.7%と、最も多くなっている（図表 19）。

平均支給予定月数は、全業種では「1.0 ヶ月以上 1.5 ヶ月未満」が 39.7%と、最も多くなっている（図表 20）。

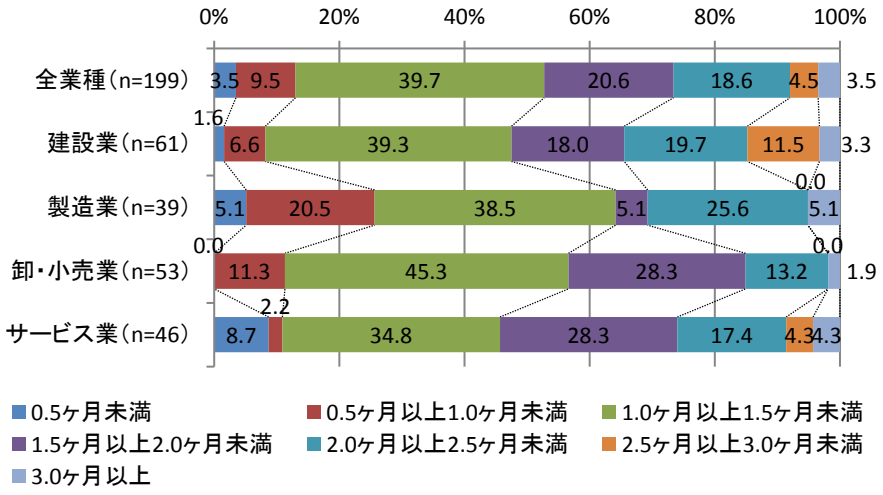
図表 18 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移



図表 19 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」



図表 20 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定月数」



＜参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率＞

（サンプル数：社）

	建　設	製　造	卸・小売	サービス	合　計
県　北	22	17	24	19	82
中　央	65	50	69	76	260
県　南	36	51	40	20	147
合　計	123	118	133	115	**489**

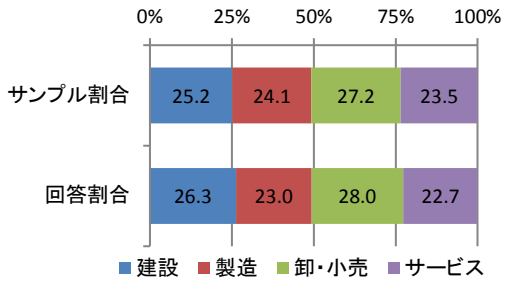
（回答数：社）

	建　設	製　造	卸・小売	サービス	合　計
県　北	18	12	20	13	63
中　央	49	38	49	53	189
県　南	28	33	32	16	109
合　計	95	83	101	82	**361**

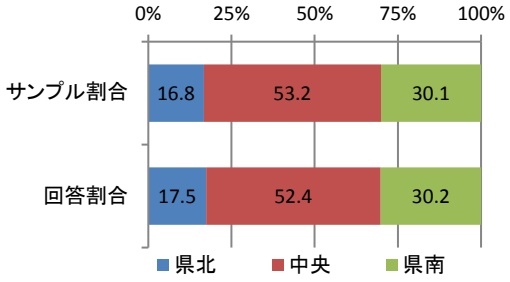
（回答率：%）

	建　設	製　造	卸・小売	サービス	合　計
県　北	81.8	70.6	83.3	68.4	76.8
中　央	75.4	76.0	71.0	69.7	72.7
県　南	77.8	64.7	80.0	80.0	74.1
合　計	77.2	70.3	75.9	71.3	**73.8**

（業種別：%）



（地域別：%）



＜参考資料Ⅱ：調査の概要＞

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部ＦＡＸを利用）。

● 調査期間

2021 年 11 月 1 日（月）～16 日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県　北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中　央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県　南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 （択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価格（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ３肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれＤＩ値を算出する。ＤＩ値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例）自社の業況ＤＩ値

＝（「1. 良い」と回答した企業の割合）－（「3. 悪い」と回答した企業の割合）

たとえば「自社の業況ＤＩ値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のＤＩ値についても同様に、選択肢「1.　」（「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3.　」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

＜お知らせ＞

ＦＳＮ会員専用ホームページ（http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi）にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ（https://www.fir.co.jp/）「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

＜お問い合わせ先＞

株式会社フィデア情報総研　秋田事業所　地域政策コンサルティング部　後藤／佐藤

・ **秋田事業所**
〒010-0001　秋田県秋田市中通 3-1-41　北都銀行本店 3F
℡：018-837-1727　　Fax：018-834-5508

・ **山形支社**
〒990-0043　山形県山形市本町 1-4-21　荘銀山形ビル 8F
℡：023-626-9017　　Fax：023-626-9038　　E-mail：kenkyuu@fir.co.jp
URL：https://www.fir.co.jp/